



★夏の特別貸出：一人10冊まで！ 返却日：9月1日

★夏休み中の図書館開館日（開館時間 9:00～17:00）

★7月24日(月)～28日(金) ★8月21日(月)～25日(金)

読書の夏！

この夏、君は、心に残る本に出会う！



# 読んで世界を広げる、書いて世界をつくる 読書感想文募集

ぜひこの夏、すてきな本に出会い、

自分の心に残った感動を読書感想文に表現してみよう。

本を読んで、何を感じ、何を考え、心がどう動いたか？ それを自分の言葉で生き生きと表現すれば、最高の読書感想文になります。ぜひ、チャレンジしてください。

提出された感想文の中から優秀作品（学校代表）を選んで、第69回青少年読書感想文全国コンクール（阪神高校支部）に応募します。素晴らしい作品を期待しています。

\*2000字原稿用紙・「HOW TO 読書感想文」は配布します。

## 1 対象図書：自由図書・課題図書（下記の図書）

（教科書、副読本、雑誌、パンフレット類、日本語以外の図書は対象外）

## 2 字数 2000字以内（題名・氏名は字数に入れない）

## 3 校内提出 9月1日（金）（2学期始業式の日）

## 第69回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書＜高等学校の部＞

書名	著者名	出版社	本体価格
1 ラブカは静かに弓を持つ	安壇 美緒	集英社	1760円
2 タガヤセ！ 日本	白石 優生	河出書房新社	1562円
3 昆虫の世界 虫たちは今日も地球を回す	アンヌ・スヴェルトルップ = ティーゲ・ゾン	辰巳出版	1980円

## 『ラブカは静かに弓を持つ』



少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇。以来、深海の悪夢に苦しみながら生きてきた橘樹。ある日、上司の塩坪から呼び出され、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠をつかむこと。橘は身分を偽り、チェロ講師・浅葉のもとへ通うが、やがて彼の演奏に魅了され、心震える“スパイ×音楽”小説！

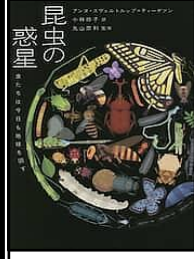
2023年本屋大賞第2位

## 『タガヤセ！日本』



農業ってこんなに面白い！若き官僚 YouTuber として多くのメディアにも登場する著者が、最新の農業から、実はスゴい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊。AIによるスマート農業（ドローンや無人トラクターも活躍！）から品種改良のヒミツ（A5ランクのおいしさの基準じゃない）まで。現役官僚 YouTuber が全力で“推す”農業の世界！

## 『昆虫の惑星』



プラスチックを食べるミールワーム、食べ物や日用品に貢献するミツバチ、傷を癒すニクバエ、農耕や牧畜をするアリ、子煩悩なハサミムシ、水中で音楽を奏でるミズムシ。ノルウェーから届いた、「知ること」の楽しさに満ちたネイチャー・ノンフィクション。わたしたちヒトは、昆虫に包囲されている。女性昆虫学者が語る奇妙で、美しく、風変わりな虫たちの話。

# 第56回 夏休みの本 高等学校の部

【緑陰図書】



全国学校図書館協議会 選定

## モノクロの夏に帰る

●高等学校の部



額賀 濤・著  
中央公論新社  
定価1,760円(税込)  
ISBN978-4-12-005551-5

AIを使って太平洋戦争時代のモノクロ写真をカラー化した本『時をかける色彩』。生々しく戦争の記憶が蘇るその本を巡って4話が交錯する。POPを書いた性的マイノリティの書店員。読書感想文を書く戦略的保健室登校をする中学生。戦争特番のドキュメンタリーを制作するディレクター。日米で異なる戦争教育に戸惑うアメリカ人高校生。戦時下に生きた人々に思いを馳せて、その記憶を次世代に引き継いでゆく。

## シタマチ・レイクサイド・ロード

●高等学校の部



濱野京子・作  
ポプラ社  
定価1,650円(税込)  
ISBN978-4-591-17758-7

東京の下町、上野公園に程近い都立池端高校2年の湯浅希和子。所属する文芸部では、童話作家になるのが夢だと語る同級生や、熱心に創作に励む後輩部員と接するうちに「何かを表現する人は選ばれた人なのだ」とコンプレックスを募らせていく。そんな希和子を、妹の元気で後輩の朔だけは肯定し続けてくれた。希和子がようやく劣等感から自分を解放できたとき、朔の希和子に対する思いにも正面から向き合うことに。

## ヘルンとセツ

●高等学校の部



田渕久美子・著  
NHK出版  
定価1,870円(税込)  
ISBN978-4-14-005728-5

日本に憧れ、英語教師として島根県松江に赴任したラファディオ・ハーン。ヘルンとは彼のニックネームであり、セツとは、ハーンを支えた日本人妻のことである。言葉も通じない、まるで境遇の違う二人の奇跡のような出会い。あや取りの綾(あや)が解かれていくように惹かれ合い、周囲の人々の献身的な支えもあって結婚し、「怪談」が発表されるまでを、明治時代の山陰地方を舞台に、ドラマチックに描いていく。

## 僕とアンモナイトの1億年冒険記

●高等学校の部



相場大佑・著  
イースト・プレス  
定価1,650円(税込)  
ISBN978-4-7816-2155-5

アンモナイトは大昔に絶滅した軟体動物である。その名前を聞いたことがある。巻き貝のような形を知っているという人は多いだろう。どこで生まれ、どう成長し、殻ではない本体はどんな姿だったのか。現代に残る化石から1億年前の生物の謎に迫っていく。時に悩みながらも、古生物研究者としての道をひたすらに突き進む著者の奮闘ぶりが生き生きと描かれている。知的好奇心のままに学ぶことの喜びや充実感が伝わってくる。

## ボーダー：移民と難民

●高等学校の部



佐々涼子・著  
集英社インターナショナル  
定価1,980円(税込)  
ISBN978-4-7976-7402-6

日本語教師だった頃から在留外国人と接してきた著者、佐々涼子。知人で難民の弁護にあたる児玉晃一との再会から、ある入国管理センターを訪れることに。そこで長期間収容されている外国人たちへの面会を通じ、人権が損なわれている窮状に愕然とする。難民認定率が1%以下と極めて低い日本。10年にわたり在留外国人の声にならぬ声をすくいあげ、日本の入管と移民・難民問題を追いつけたノンフィクション。

## うけいれるには

●高等学校の部



松本百合子・訳  
早川書房  
定価1,980円(税込)  
ISBN978-4-15-210218-8

舞台は、フランスの自然豊かな山あいの家。重度の障がいをもって生まれた三番目の子どもを中心に、長男、長女、そして未っ子それぞれの立場から家族の葛藤が描かれる。兄は無垢な弟を献身的に介護するが、姉は、不平等に怒り抵抗する。「普通でいることを勝ち誇っている他者」の存在は、両親を含め家族を苦しめるが、やがて大自然の営み、祖母の優しさ、姉の奮起、未っ子の誕生を通して、安らぎの境地に達するまでを描く。

## 車いすテニスの革命：国枝慎吾選手 ゴールテニスからパラテニスまでの軌跡

●高等学校の部



本塚 強・著  
山川出版社  
定価1,980円(税込)  
ISBN978-4-634-15219-9

車いすテニスの第一人者で、今年1月に現役を引退した国枝慎吾さん。昨年、ウインブルドンで初優勝を果たし、四大大会のすべてでパラリンピックを制する「生涯グランドスラム」を達成した。本書では、福祉の側面から捉えられてきた車いすテニスを競技スポーツとして認知させ、その可能性を自身のプレーで切り開いてきたことが、本人へのインタビューなどを通して詳細に語られている。パラスポーツの魅力や可能性が伝わる。

## 「ナバーム弾の少女」五〇年の物語

●高等学校の部



藤 えりか・著  
講談社  
定価1,980円(税込)  
ISBN978-4-06-528813-9

ベトナム戦争末期に撮られた一枚の写真は、世界中に衝撃を与え、反戦運動に火を付けた。その写真から50年、写真の「主役」となった少女のその後を描いたノンフィクションである。大火傷からの生還、ベトナム政府に反米プロパガンダの「道具」とされた日々。結婚を機に夫と共に自由を手に入れるため必死の亡命と、その後の生き様は、あまりに劇的すぎるものであった。平和や自由の尊さを考えさせられる一冊である。

★★★ 新着 図書案内 ★★★	著者	出版社	分類
君が残した贈りもの	藤本ひとみ	講談社	913 日本文学
この夏の星を見る	辻村深月	KADOKAWA	913 日本文学
世界でいちばん透きとおった物語	杉井光	新潮社	913 日本文学
世界は「」を秘めている	櫻いいよ	PHP 研究所	913 日本文学
コメンテーター	奥田英朗	文藝春秋	913 日本文学
ヨモツイクサ	知念美希人	集英社	913 日本文学
戦物語	西尾維新	講談社	913 日本文学
青春サプリ。 [9]／夢をあきらめない	田中夕子ほか	ポプラ社	913 日本文学
5分後に奇奇怪怪のラスト	エブリスタ//編	河出書房新社	913 日本文学
白ゆき紅ばら	寺地はるな	光文社	913 日本文学
遠い空の下、僕らはおそるおそる声を出す	野中ともそ	光文社	913 日本文学
扉をひらく哲学	中島隆博ほか	岩波ジュニア新書	100 哲学